

第22回 IHE ワークショップ in 東京

主催: 日本 IHE 協会 普及推進委員会

共催: JPACS 医用画像電子化研究会

日 時: 2010年6月5日(土) 午後1時~午後6時

場 所: 慶應義塾大学医学部 東校舎 講堂

※ 医療情報技師更新ポイント: 3点(「出席証明証引換書」にご記入の上で休憩時間に受付でお引換え下さい)

日本 IHE 協会が行っている IHE Workshop も今回で22回目の開催となり、会場を東京として、多くの方が参加できるようにしました。また、初級編とし、易しく IHE を解説します。特に今回は、初心に返り、IHE 活動とは何かを理解できるように、プログラムを作成しました。

— プログラム —

1. そもそもなぜIHE活動がはじまったか? —DICOM や HL7 規格の不備— (30分)

中島 隆(富士フイルム)

ム)

2. IHE活動の目指すもの その理念 (20分)

安藤 裕(日本 IHE 協会 代表理事)

事)

3. IHEの星取り表は、なぜ分かりづらいのか、マトリックスで分かりやすくするには (20分)

向井 まさみ(日本 IHE 協会 普及推進委員)

会)

4. IHEの2大活動とは? —テクニカルフレームワークの作成とコネクタソン— (30分)

下邨 雅一(富士通)

通)

5. ユーザーにとって、最低限知っておかなければいけないIHEの知識

—アクター、トランザクションとテクニカルフレームワーク— (30分)

細羽 実(京都医療科学技術大)

学)

..... 休憩(15分)

6. IHE を利用したシステム構築の実際

~放射線領域を IHE で導入する場合を例にあげて~ (30分)

松田 恵雄(埼玉医科大学総合医療センター)

7. IHEを用いて情報システムを導入した経験 (各20分)

1) 青梅市立総合病院におけるIHEを用いたシステムの導入経験 ~放射線領域~

石北 正則(青梅市立総合病院)

2) 放射線医学総合研究所病院における検査システム

清水 一範(放射線医学総合研究所)

3) IHE によるシステム構築と更新について

松田 恵雄(埼玉医科大学総合医療センター)

8. IHEに期待すること

- 1) 医療情報化政策における IHE の位置づけ (30分)
- 2) 放射線治療分野から見た IHE 活動 (20分)

中安 一幸(東北大学)

川口 修(慶應義塾大学)